

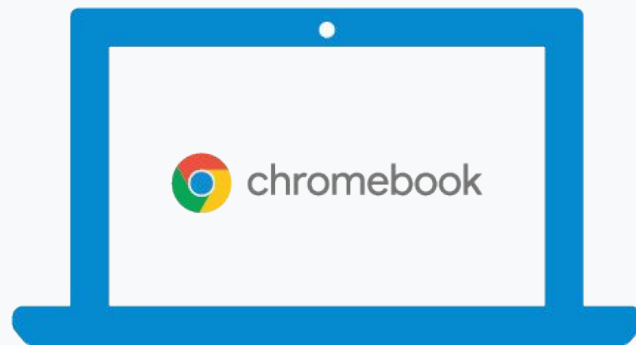
学校外における
GIGA スクール構想による
1人1台端末の
安心・安全な活用に向けて



Google for Education は持ち帰りに適したソリューションです

追加設定なし(学校内での利用と同様の設定のまま)で持ち帰りを実現できます！

- ✓ 学校外でも最新のセキュリティ対策適用
- ✓ 標準フィルタリング機能*搭載
- ✓ 紛失盗難時も遠隔で端末無効化
- ✓ 学校外での OS 等更新作業の心配不要
- ✓ ドメイン外のログイン制御



*ブロックリスト、セーフサーチ、セーフブラウジング等。詳細情報は [FAQ*8P](#)～ 参照)

安心安全な持ち帰り実施のための環境整備

GIGA スクール構想の標準仕様の範囲内で、 安心安全な持ち帰りに向けた主な設定が可能です

● 児童生徒の適切なアクセス設定

- [管理コンソール](#)でユーザーがアクセスするコンテンツに対する制限がかけられます
(※学校における活用時と同様の設定で問題ありません)
- 有償フィルタリングの要否は、システムで担保したい範囲に依存します
- 指定されたアプリケーション以外はダウンロードできないような設定を行えます

● 端末の紛失、盗難対策

- 紛失、盗難発生時には、管理コンソールから遠隔で端末を無効化できます

● ウイルス対策

- Chromebook は、自動的にソフトウェアを最新に保ち、最新のセキュリティ修正を適用した状態にすることで不正なソフトウェアの侵入を防ぐため、**端末ごとにウイルス対策ソフトをインストールする必要はありません**
- Chromebook では、マルウェア感染のリスクが高い「電子メールの閲覧」「Web サイトの閲覧」「USB メモリの差し込み」「フリーソフトやアプリのダウンロード」などにおいて、セキュリティ対策が可能な機能を提供しています
- Chromebook では個々のウェブページとアプリケーションが「サンドボックス」と呼ばれる制限された環境で動作します。ウイルスに感染したページを開いたとしても、他のタブ、アプリ、その他の要素に影響が生じることはなく、脅威は封じ込められます
- Web サイトの閲覧、メールの送受信、USB メモリの利用やアプリ・ソフトウェアのダウンロード可否はユーザーごとに利用範囲を制御することで、端末への不正なソフトウェアの持ち込みを防ぎます

安心安全な持ち帰り実施のための環境整備(設定方法)

● 児童生徒の適切なアクセス設定

- 管理コンソールより、ユーザーがアクセスするコンテンツに対する制限が可能です。
- 標準機能として、Web サイトの制限機能が備わっております
(ブロックリスト、セーフサーチ、セーフブラウジング等。詳細情報はAQ※8P～参照)

コンテンツ ↑

セーフサーチと制限付きモード ローカルに適用 ▼ 	Google 検索クエリのセーフサーチ Google 検索クエリに常にセーフサーチを使用する ▼ YouTube の制限付きモード YouTube で制限付きモードを強制的に適用する ▼
スクリーンショット ローカルに適用 ▼ 	ユーザーがスクリーンショット画像をキャプチャできないようにする ▼

Chrome のセーフ ブラウジング ↑

セーフ ブラウジング ローカルに適用 ▼ 	常にセーフ ブラウジングを有効にする ▼
---	-----------------------------------

安心安全な持ち帰り実施のための環境整備(設定方法)

- 端末の紛失、盗難対策

- 端末を Chrome Education Upgrade (MDM) に紐づけていれば、管理コンソールから遠隔で端末の無効化が可能です
- 端末が初期化されたときに、Chrome Education Upgrade (MDM) に自動的に再登録する設定を行うことが可能です。これにより、初期化しても端末は管理者の管理下にあるため、転売などの対策になります

登録とアクセス ^

自動的に再登録
ローカルに適用 ▼

ワイプ後にデバイスを自動再登録 ▼

無効になっているデバイスの返却手順
ローカルに適用 ▼

無効になっているデバイスの返却手順

この端末はグーグル第一中学校の資産です。
下記住所に返却いただくか、電話番号にご連絡ください。

XXXX
XXX-XXX-XXX

デバイスがロックされていることを示すメッセージの下に表示するカスタム 64/512 文字
テキストです。このメッセージには、デバイスの郵送先の住所と連絡先の電話番号を記載することをおすすめします。

持ち帰りを始める前に児童生徒・保護者に伝えておくこと

運用ルールを決めて保護者に事前共有いただくこと

- **パスワードを忘れたとき、入力を間違えてロックがかかったときの対応**
 - 持ち帰りにおけるパスワード失念時、ログインエラー時の連絡先対応方法を各学校にて整理しておきましょう
 - パスワード失念時には、管理コンソールから遠隔でリセットが可能です
- **端末の故障、紛失、盗難の予防**
 - 故障、紛失、盗難を予防する持ち帰りルールを定めましょう
 - 万が一の際には、まず学校に連絡することを徹底しましょう

ご家庭で対応いただくこと

- **家庭の Wi-Fi への接続方法**
 - [Chromebook で Wi-Fi に接続する方法 \(https://www.google.com/intl/ja_jp/chromebook/howto/connect-to-wifi/\)](https://www.google.com/intl/ja_jp/chromebook/howto/connect-to-wifi/)をご参照ください
- **(ご参考)保護者のみなさまへ**
 - [Google Workspace for Education 保護者向けガイド](#)

持ち帰りを始める前に児童生徒・保護者に伝えておくこと(設定方法)

● パスワードを忘れたとき、入力を間違えてロックがかかったときの対応

- 管理コンソール上にてパスワードをリセットする管理者を作成し、各校の担当教員にその権限を付与することで、各学校にて対応することが可能です
- 予め、持ち帰りにおけるパスワード失念時の連絡先・対応方法を各学校にて整理しておくことが重要です

管理者ロール

ロール	新しいロールを作成		
ロール	ロールの説明	種類	
特権管理者	Google Apps Administrator Seed Role	システムロール	
グループ管理者	Groups Administrator	システムロール	
ユーザー管理者	User Management Administrator	システムロール	
ヘルプデスク管理者	Help Desk Administrator	システムロール	管理者を割り当て 権限を表示 管理者を表示
サービス管理者	Services Administrator	システムロール	
モバイル管理者	Mobile Administrator	システムロール	

× ヘルプデスク管理者 | 6 個の権限

管理コンソールの権限

- 組織部門 > 読み取り
- ユーザー > 読み取り
- ユーザー > 更新 > パスワードの再設定

持ち帰りに関する FAQ ～フィルタリング～

Q 家庭など学校外で、不適切サイトへの接続を防ぐ手段を教えてください

A 管理者は、管理コンソールにて以下の設定が可能です。自動的に不正や危険なコンテンツと判断されたWeb サイトには、ユーザーによるアクセスおよびコンテンツのダウンロードを禁止します。

- [セーフサーチ](#): Google 検索クエリに常にセーフサーチを使用する
- [ポップアップ](#): すべてのポップアップをブロックする
- [セーフブラウジング](#): 常にセーフブラウジングを有効にする
- [ダウンロードの制限](#): 危険性のあるダウンロードをブロックする
- [セーフブラウジングの警告の無視を無効にする](#): セーフブラウジングの警告の無視をユーザーに許可しない
- [SafeSites URL フィルタ](#): アダルトコンテンツに基づくサイトの除外を行う
- [URL のブロック](#): 特に禁止したいWeb サイトなどは、URL 拒否リストに登録

Q 家庭など学校外で、フィルタリングの設定を変更出来ないようにしてほしいです

A 管理コンソールでユーザーに対するポリシーとして設定するため、管理者以外が変更することはできません。

Q 家庭など学校外で使う場合、有償のフィルタリングソフトを入れなければなりませんか

A 学校における活用時と同様の設定で問題ございません。追加の有償フィルタリング無しで持ち帰り学習を実践している学校もございます。有償フィルタリングの可否は、フィルタリングを行う範囲や方法にも寄りますため、ご要件次第でご判断ください。

持ち帰りに関する FAQ ～紛失・故障～

Q 家庭など学校外で、端末に故障や不具合が生じた場合、どうすればよいでしょうか

A こちらは端末メーカー様に依存するご質問のため、対応内容等はメーカー様や販売店様にお問い合わせください。
なお、Chromebook の場合には、故障による同じ端末モデルへの交換時にライセンスを再購入する必要はございません。

Q 家庭など学校外で、端末を紛失した・盗難された場合、どうすればよいでしょうか
第三者に勝手に転売されてしまった場合、どうすればよいでしょうか

A 端末を Chrome Education Upgrade (MDM) に紐づけていれば、管理コンソールから遠隔で端末の無効化が可能です。予め以下設定を行っていただくことで、無効化された端末にはログイン画面などが表示されず、設定したメッセージのみが表示されるようになります。この画面を見たユーザーがデバイスを組織に返却できるように、返却先の住所と連絡先電話番号を含めることをおすすめします。

- [無効になっているデバイスの返却手順](#)

また、端末が初期化されたときに Chrome Education Upgrade (MDM) に自動的に再登録する設定を行うことが可能です。これにより初期化しても端末は管理者の管理下にあるため、転売などの対策になります。

- [ワイプされた Chrome デバイスを自動的に再登録する](#)

持ち帰りに関する FAQ ～ネットワーク～

Q 家庭など学校外でWi-Fiに接続すると、情報漏洩してしまいますか

A Google Workspace for Education および Chromebook は、ネットワークに依存しないセキュリティ対策が講じられています。Google のサービスでは、すべてのデータに対して HTTPS で暗号化されたトンネルを使用したアクセスが可能です。このプロトコルはすべてのユーザーに対してデフォルトで有効になっており、自分のデータは自分自身しか読めないようになっています。また、モバイルメールクライアントでも、暗号化アクセスによって通信のプライバシーが保たれています。さらに、サードパーティのメールクライアントからメールデータにアクセスする場合も、暗号化アクセスを必須としています。

- [プライバシーとセキュリティ](#)

Q 家庭など学校外からネットワークに接続するために、ウイルス対策ソフトを入れる必要はありますか

A Chromebook は「多層防御」の原則に基づいて複数の層で情報を保護しています。不正なソフトウェアへの対策として最も有効なのは、すべてのソフトウェアを最新に保ち、最新のセキュリティ修正を適用しておくことです。Chromebook の OS のアップデートは自動的に行われるため、常に最新で最も安全なバージョンが動作するようになっています。また、個々のウェブページとアプリケーションが「サンドボックス」と呼ばれる制限された環境で動作します。Chromebook でウイルスに感染したページを開いたとしても、他のタブ、アプリ、その他の要素に影響が生じることはなく、脅威は封じ込められます。

- [Chromebook のセキュリティ](#)

持ち帰りに関する FAQ ～ネットワーク～

Q 家庭に Wi-Fi 環境がなく、Wi-Fi モデルの端末が使いません

A Chromebook および Google Workspace for Education はオフラインでも利用可能です。オフライン時に編集したドキュメントなどは、次回オンラインになった際に同期されます。

- **管理者向け**
 - [ドキュメントエディタへのオフラインアクセスを設定する](#)
 - [オフライン Gmail を設定する](#)
 - [オフライン利用できる Chrome アプリと拡張機能](#)
- **ユーザー向け**
 - [Chromebook をオフラインで使用する](#)
 - [Chromebook で Google ドライブのファイルにオフライン作業を行う](#)
 - [オフライン Gmail を使用する](#)
 - [オフライン時に Google ファイルで作業する](#)

持ち帰りに関する FAQ ～パスワード～

Q 家庭など学校外で利用している時に、児童生徒がアカウントやパスワードを忘れてしまった場合の対応方針を教えてください

A 管理コンソールにてパスワードをリセットする管理者を作成し、各校の担当教員にその権限を付与することで、各学校にて対応することが可能です。予め、持ち帰りにおけるパスワード失念時の連絡先・対応方法を各学校にて整理しておくことが重要です。

- [特定の管理者ロールを割り当てる](#)

持ち帰りに関する FAQ ～その他～

Q 家庭など学校外で利用している時に、子どものアカウントに迷惑メールが来ないか心配です

A 管理者は、管理コンソールでは組織内のGmail 利用について、送受信可能なドメインやユーザーを指定する、コンプライアンスやデータ保護のルール設定を行う、メールを検閲に回すなど様々な制御を行うことが可能です。またGmail では、迷惑メールや不審なメールを自動的に判断して迷惑メールに振り分ける機能が備わっています。

- [Gmail の高度なセキュリティ](#)
- [Gmail のコンプライアンスとデータ保護](#)
- [Google Workspace 向けの高度なメールルーティング](#)
- [迷惑メールの管理オプション](#)

Q 家庭など学校外における、端末やOS のメンテナンスはどうすれば良いでしょうか

A OS のアップデートは自動的に行われるため、ユーザーは特に意識することはありません。管理者は、組織内のデバイスのChrome オペレーティングシステム (OS) の更新を管理できます。Chromebook では、約 6 週間ごとに OS のフル アップデートがリリースされます。セキュリティ修正やソフトウェアのアップデートなどのマイナーアップデートは、2～3 週間ごとにリリースされます。Chrome OS のフル アップデートは約 400 MB、マイナー アップデートは約 50 MB です。

- [Chrome デバイスの更新を管理する](#)
- [Chrome OS リリースのおすすめの使用方法](#)

*学校からモバイルルーターを貸与する場合、従量課金制のネットワークを利用しているご家庭がある場合は、「[Chrome デバイスの更新を管理する](#)」を参照し適切な運用方針を決めましょう

持ち帰りに関する FAQ ～その他～

Q 家庭など学校外で利用している時に、学習に関係のないサイトにアクセスした場合、履歴は残りますか

A Google Workspace for Education の個々人のアカウントに紐付いて、ブラウザの閲覧履歴を保存することができます。なお、利用する端末に関わらず、閲覧履歴は個々のアカウントに保存されます。管理者は「ブラウザ履歴を必ず保存する」「ユーザーによるブラウザ履歴の削除を許可しない」「ブラウザのシークレットモードの利用を許可しない」設定を行うことで、必ずブラウザ履歴を残す設定にすることが可能です。

- [ブラウザの履歴](#)
- [ブラウザの履歴の削除](#)
- [シークレットモード](#)

Q 家庭など学校外で利用している時に、自宅にある別のパソコンでも学習ソフトや学習データにアクセスできますか

A Google Workspace for Education アカウントで家庭の端末からGoogle Classroom の課題などにアクセスすることは可能です。
(特定端末からのみGoogle Workspace for Education へのアクセスを許可する設定をしている場合は除きます)

持ち帰りに関する FAQ ～その他～

Q 家庭など学校外で利用している時に、児童生徒が勝手に設定を変えたり、学習に関係ないアプリをインストールすることを制限する方法はありますか

A 管理者は、指定のアプリ以外をインストールできないように設定が可能です。いずれもchrome Education Upgrade (MDM)にて制御可能です。

- [アプリや拡張機能を表示、設定する](#)
- [アプリや拡張機能のポリシーを設定する](#)

Q 家庭など学校外で利用している時に、パソコンから出る電磁波が健康に悪影響を及ぼさないか心配です

A JIS 規格を満たした製品が斡旋されていますので、健康上の問題はございません。Chromebook は技適を通っておりますので、電磁波についても対応しております。

- [総務省 電波利用ホームページ](#)
- [Body-SAR 規制の概要](#)

Q 家庭など学校外で利用している時に、ブルーライトが健康に悪影響を及ぼさないか心配です

A Chromebook には「夜間モード」や「ダークモード」の機能がございますので、気になる方は、大変お手数ですが設定をお願いいたします。

- [Chromebook の画面の色を変更する](#)
- [ダークモードまたはダークテーマでブラウジングする](#)

持ち帰りに関する FAQ ～その他～

Q 家庭など学校外で利用している時に、兄弟や保護者も端末を利用してもいいですか

A 運用方法は各自治体・学校の方針に従ってください。管理者は、明示的に指定したユーザアカウント以外のログインを制限することが可能です。

- [ログイン制限](#)

また「デバイスの管理外時間」設定をすることで、指定した曜日・時間帯以外は上記のログイン制限を適用しないことも可能です。この設定を有効にした場合、家庭で端末を利用する時間帯は、学校アカウント以外のGoogle アカウント(Gmail アカウント等)も端末にログインして利用を可能にすることができます。

- [デバイスの管理外時間](#)

Q 新型コロナウイルス等の感染症拡大防止のために休校や学級閉鎖となった場合に、学習用PC 端末を使った遠隔授業を想定しているのでしょうか

A 運用方法は自治体・学校の方針に従ってください。Chromebook や Google Workspace for Education を使うことで、オンライン朝の会や、ウェブ会議を利用した学習指導、Google Classroom 上で課題のやり取りなどが行えます。

持ち帰りサポートデスク

お問い合わせ事務局

0120-905-860 (平日 9:00 - 18:00・祝日、年末年始除く)

gfe-jp-isr@google.com

Google for Education には皆様にご活用いただける様々なサイトやツールをご用意しております。

公式サイト



<https://edu.google.co.jp>

研修導入サポートを行っております、
お気軽にお問い合わせください。

GIGA School
Package



<http://g.co/edu/giga>

Chromebook と、Google Workspace for Education で、
最適な GIGA スクール構想に対応した ICT 環境を実現